

よくある質問 バンク Q&A

Q どんな歯の歯髄細胞を預けることができるの？

A バンクに預けられるのは、抜歯が必要と診断された乳歯や大人の歯(永久歯)です。大人の歯の場合は、斜めに生えている親知らず(智歯)や、矯正治療のために抜く小臼歯などです。

Q 家や学校で歯が抜けたらどうするの？

A 歯科医院で抜いた歯でなければ、バンクに預けることはできません。かならず歯科医院で認定医の先生に歯を抜いてもらうようにしてください。

Q むし歯や歯周病の歯は使えるの？



A バンクには使えません。むし歯や歯周病の歯にはたくさんの細菌がいるため、歯髄細胞が死んでいたり、培養したときに細菌感染を起こしてしまいます。

Q 頑張って親知らずの歯周病を治しました。バンクに使えるの？

A はい、使えます。歯周病を治した細菌がない親知らずであれば、バンクに預けることができます。認定医の先生と相談してください。

Q 何歳の歯まで使えるの？

A とくに年齢制限はありません。治療のために抜くむし歯や歯周病のない歯であれば、何歳でも預けることができます。しかし、より年齢が若いときの細胞の方が元気で活きがいいので、将来の再生医療には有利です。

Q 歯は全部きれいです、親知らずは昔抜いてしまいました。バンクのために他の歯を抜いて使えるの？

A いいえ、使えません。本バンクは、抜く必要のない歯の歯髄細胞を預かることはできません。あくまで治療のために親知らずや小臼歯を抜いた際に、その歯髄細胞をお預かりするサービスです。



Q 細胞が保管できなかったらどうするの？

A お預かりした歯の歯髄細胞を培養したときに、細胞の元気がなかったり、細菌感染を起こした場合は、細胞の保管を行いません。ただし、その際の培養処置料を含む登録保管料はいただきますので、ご安心ください。

Q 歯髄細胞はいつまで保管できるの？

A 超低温状態で保管を行うため、半永久的に保管が可能です。また、増やした歯髄細胞は、2本の凍結チューブに分けて、別々の場所に安全に保管します。

Q 保管した細胞を使った再生医療で、病気やケガを確実に治せるの？

A 残念ながら確実に治せる保証はできません。現代医療に100%がないように、再生医療も100%ではありません。ただし、再生医療は日進月歩しています。そのため、再生医療やその他の医療の発展とともに、保管した細胞の利用度がますます大きくなるのは確実です。

Q 1本の歯で、何回の再生医療ができるの？

A 原則は1回の再生医療に使います。ただし、個人差がありますが、細胞がたくさん増えた場合は、もう一度細胞を凍結保存して、次の病気に使うことができる場合もあります。

Q 保管した細胞を家族や他人にも使えるの？

A 将来は使える可能性があります。現在はこちらご自分の治療に使うことが前提ですが、近い将来にはご家族(兄弟)にも使うことができるようになるでしょう。本バンクは身近で安全な再生医療をめざしています。

